



杉退教・さくら会 たより

杉並区退職教職員連絡協議会(さくら会) ホームページ「都教組杉並支部」で検索
〒167-0031 杉並区本天沼 1-2-19 都教組杉並支部内 Tel 3399-8719 Fax 3399-3855



7月1日(日)セシオン杉並で
歌いつづけて31年

杉並ぞうれっしや合唱団 2018年ファミリーコンサート

杉退教の仲間・OB/OG
教職員とその家族・・・
十八人が出演しました

元杉並支部書記の山北敦子さんは合唱団の主宰とアルト。夫君服部安宏さんは動物園園長役。元杉八小の掛川陽子さんは指揮者。元松ノ木小の金田安夫さんはピエロ役とテノールで。金田文子さんは指揮とソプラノで。元神明中の佐藤康尚さんは佐藤忍さんと。お子さんとお孫さん三人も参加。元大宮小の小林久枝さんはお孫さん二人と参加。元松庵小の平田紀子さんは平田啓さんと。小杉澄子さん(元大宮小)三村彩子さん(元桃二小)島修一さん(元和泉中)も参加して文字通りファミリーコンサートになりました。

プログラムは、合唱「ぼくら太陽の子」「へいわつてすてきだね」に始まり、杉並光友会の立野季子さんの長崎原爆被爆の体験。池山由香さんのアルパ演奏と歌。そして合唱組曲「ぞうれっしや」がやってきた。「ぞうのつばさで」よりが発表されました。毎年のコンサートですが、新たな工夫もあり、感動をよぶ催しとなりました。退教仲間の応援ありがとう。T



中央線快速の車窓から・・・
高円寺駅から中野方向へ、
環八通りを越えた北側に巨大な
建築工事現場が・・・
この鉄骨6階建のビルが学校!?
乗客何人が学校と思うでしょう。

高円寺「小中一貫校」建築に問題あり

高円寺駅に近い杉並第四小、青梅街道と中央線の間位置する杉並第八小をつぶし、高円寺中学と合体した「小中一貫校」の建築が地元住民の反対や多くの保護者の疑問を無視して、高円寺中敷地の南側で進められています。

去年の7月、杉退教たより150号にもこの問題を取り上げましたが、上の写真のように大きなクレーンが持ち込まれ、鉄骨が6階の高さまで組まれました。電車がさらに進むと、中野駅手前にもっと大きな建物が現れますが、こちらは明治大学や平成帝京大学などの校舎で、しかも昔、陸軍や警察などのあった広大な敷地の中に建てられたものです。公害、騒音が多く、二重ガラスの窓にしなければならない高円寺中敷地に、小学生と中学生を押し込め、9年間も通わせるのは問題が多すぎます。

建設会社が、工事の遅れは住民の反対運動のためとして訴訟を起こす。
工事完了予定の遅れの原因は、建築確認の遅れ、杭発注の遅れにあることがわかる。住民が触ってもいけないのに白石建設部長が突然転倒(しりもち)被害届を出すという珍事件が起き、検察に書類送検。「不起訴処分」の知らせあり。17年12月17年10月に行われた、田中区長の政治団体主催のゴルフコンペに100社超の企業が参加した。高円寺一貫校の工事受注業者の白石建設、渡辺建設、矢島工務店も名を連ねている。

18年3月、工事車両に、高円寺駅近くの横断歩道を渡っていた住民が危うく轢かれそうになる。猛スピードで通りすぎた生コン車は一貫校工事の車両。
3月27日夕方、高円寺中の樟の木が無残にも切られる。赤テープ(切る木)のないこの木は残ると思っていたのに...。子どもたちのいない春休みに入った途端の出来事。思い出の木なのでこの樟の木でベンチや記念品を作って残すと区は言うが・・・。

(次ページにつづく)

最近のようすを高円寺中の近辺の方に聞いてみました

工事場を囲う塀の色が白いため太陽の反射が強くてまぶしく、これから暑くなったら照り返しがひどくなりそうです。

その東側に全方位が映るカメラが付けられてまるで住民を監視しているようだ。

(このカメラは何のため?!)

騒音と地響きがすごいので地震かと思って外に飛び出すことが何回もあった。ひどい騒音のときに2回見に行ったら、計測器が止めてあったので抗議した。

住民向けに工事の内容を知らせる掲示板がだまかにしか書いてないので、騒音や地響きが出るときはそのことを知らせるよう要求している。

工事環境についての区との話し合いは何回かされた。

K.

都心の麻布米軍基地と1993年1月8日の杉森中学校



杉退教たより5月号の小林さんの報告「平和のための基地見学」の記事を見せてもらい驚いたことがありました。

麻布に米軍施設があることは以前から知っていましたが、ときどき出向く「国立新美術館」(矢印)のすぐ目の前に「米軍基地・ヘリポート」(白い点線の中)があったことです。(一部返還された敷地に美術館ができたのだそう)

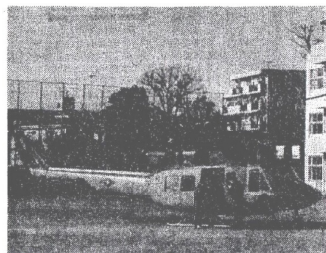
のんびりと絵など見ていて、目の前の

基地を見ていないのでは「平和ぼけ」と言われても仕方ありません。

この基地には、毎日定期的に横田基地の将校や要人がヘリコプターで移動しています。横田を飛び立ったヘリは、中央線にそって東へ。杉並の上空も通過して赤坂プレスセンター(麻布米軍ヘリ基地)に飛来します。

このヘリコプターで思い出したのは、1993年1月8日、杉並上空でトラブルを起こした米軍ヘリが、急ぎよ通告もなく、杉並区立杉森中学校の校庭に不時着したことです。将校や女性の軍関係者を含む8名は、同校校長室で待機。横田から整備員が電車で駆けつけ、整備が終わったとして飛び立ちました。

一度トラブルを起こして不時着した航空機が、日本の国の安全審査も受けなくて飛び立つなど、米軍でなければ絶対にできないことです。ここにも日米安保条約の暗い陰が



杉森中学校庭に不時着した米軍ヘリと米軍人

あることを感じました。

この年は、杉並支部が再建して3年目。早速放課後、杉森中に出向き取材をし、写真撮ってから支部事務所(今川のころ)で執行委員会を行い、支部ニュースを作り、アメリカ大使館や米軍、国や区に抗議や要請をしました。

私が杉森中に着いたときには米軍ヘリは飛び立った後でしたが、校庭の砂が、ヘリのローターの風圧で飛ばされ、校庭の中央に大きな円形が残されていました。不時着したのは始業式が終わった午前11時40分ごろ。多くの生徒は下校していましたが、その時のようすを教職員や生徒はつぎのように話していました。「すごい音がして、校庭の砂が舞い上がり、木が台風のときのようにゆれた。」「ヘリに近づいたら米兵に止められた。」などの言葉を杉並支部ニュースは伝えています。

次に国立新美術館に行ったら、麻布米軍基地の所在を確かめてくるつもりです。

高木たかし(元高井戸東小)



先日、小林久枝先生と一緒に、セシオン杉並で上映会をしました。「ザ、思いやり パート2」です。米軍に対する思いやり予算の驚きの使い道と、あきらめずに行動する人達のドキュメンタリーです。さくら会からも何人もの方に来ていただき、ありがとうございました！ 本多百合香(元済美養護)

(*4月にお便りをいただいていたが5月号・さくらの便りへの掲載を落としてしまいました。お詫びします。係)

2017年度 杉退教会計報告

Table with financial data for 2017 fiscal year, divided into '現金会計の部' and '切手会計の部'.

2017年度 杉退教会計監査報告

帳簿、領収書、現金の保管は正確に行われていました。切手、はがきの保管も種別に分類ファイルされ、正確になされていました。 2018.7.3 小杉 澄子